

令和7年度 教科・科目年間指導計画

教科名	科目名	担当者名	必修・選択別	単位数	対象年次	
社会	地理総合	指山	必修	2単位	2年次	
教科書・補助教材等(出版社)			添削指導	面接指導	視聴報告書	
地理総合(東京書籍・701)			6回	1時間	1回	
地理総合(東京書籍インターネット講座)						
科目の指導目標						
<p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>						
区分	回数	指導内容				
添削指導	第1回	レポート1(地図や地球儀, 地理情報 領土や領域 地形図やWeb GISの使い方)				
	第2回	レポート2(交通や情報通信の発達 国境を超える人々の移動 世界の民族と言語 食文化 拡大する貿易 宗教と人々の暮らし)				
	第3回	レポート3(世界の大地形 さまざまな地形やそこでの暮らし 世界の気候と人々の暮らし)				
	第4回	レポート4(南北アメリカ大陸 アジア 地球環境問題)				
	第5回	レポート5(発展途上国の人口問題 先進国の都市問題 食料需給をめぐる問題 地球的課題: 難民問題など)				
	第6回	レポート6(日本の地形の特徴 地震災害・津波災害 日本の気候の特徴など)				
面接指導	1時間目	地図や地球儀, 地理情報, 排他的経済水域で沿岸国が認められていること, つながる世界・多極化する世界について理解する				
試験	出題範囲	主として添削指導内容, 報告課題, 面接指導内容から出題				
評価	評価の観点	①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度				
	評価の方法	添削・課題・面接等の取組状況と試験の結果により総合的に評価				

令和7年度 教科・科目年間指導計画

教科名	科目名	担当者名	必修・選択別	単位数	対象年次
社会	地理探究	指山	選択	3単位	3年次
教科書・補助教材等(出版社)			添削指導	面接指導	視聴報告書
地理探究（東京書籍・701）			9回	2時間	1回
地理探究（東京書籍インターネット講座）					
科目の指導目標					
<p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。</p>					
区分	回数	指導内容			
添削指導	第1回	レポート1（地理探究へのステップ 安定地域の地形、河川がつくる地形、海岸と海に見られる地形、気候や地質の影響が強い地形 気温と降水量の分布、風の流れと降水量の分布 ケッペンの気候区分）			
	第2回	レポート2（日本の地形と自然災害 農林水産業 エネルギーと鉱産資源）			
	第3回	レポート3（資源・エネルギー問題 工場の立地と工業地域の変容 第三次産業）			
	第4回	レポート4（交通・通信 貿易と経済連携、観光 観光を通じて、自然や文化などの資源を保全しつつ活用し、地域振興をはかる観光のあり方）			
	第5回	レポート5（人口問題、村落・都市 居住・都市問題 生活文化の地域性）			
	第6回	レポート6（民族・言語・宗教、民族問題 現代の国家と領土問題 地域区分の意義と方法）			
	第7回	レポート7（東アジア 東南アジア 南アジア）			
	第8回	レポート8（西アジアと中央アジア 北アフリカとサハラ以南アフリカ ヨーロッパ・ロシア アングロ・ラテンアメリカ）			
	第9回	レポート9（オセアニア、北極・南極 日本の地理的諸課題 持続可能な国土像の探究）			
面接指導	1時間目	季節変化や気象災害、世界の環境問題、貿易と経済連携、民族・言語・宗教、民族問題について理解する			
	2時間目	現代の国家と領土問題、持続可能な国土像の探究について理解する			
試験	出題範囲	主として添削指導内容、報告課題、面接指導内容から出題			
評価	評価の観点	①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度			
	評価の方法	添削・課題・面接等の取組状況と試験の結果により総合的に評価			

令和7年度 教科・科目年間指導計画

教科名	科目名	担当者名	必修・選択別	単位数	対象年次	
社会	歴史総合	指山	必修	2単位	2年次	
教科書・補助教材等(出版社)			添削指導	面接指導	視聴報告書	
歴史総合（東京書籍・701）			6回	1時間	1回	
歴史総合（東京書籍インターネット講座）						
科目の指導目標						
<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>						
区分	回数	指導内容				
添削指導	第1回	レポート1（18世紀のアジアとヨーロッパ 産業革命と世界市場の形成 東アジア国際関係の変化と日本の開国、および世界経済の変化と日本の産業革命）				
	第2回	レポート2（市民革命と近代社会、および19世紀の欧米の国家形態の模索 19世紀のアジア諸国家の変容、および明治維新と東アジアの国際関係 立憲制の広まり 帝国主義と植民地および19世紀末～20世紀はじめの世界）				
	第3回	レポート3（第一次世界大戦 ソ連の成立とアメリカの繁栄 反植民主義の高まりと民主主義の拡大）				
	第4回	レポート4（世界恐慌とファシズムの進展および国際協調体制の崩壊 日中戦争・第二次世界大戦・太平洋戦争 第二次世界大戦後の世界）				
	第5回	レポート5（冷戦の拡大と核兵器の管理、および地域紛争 経済政策と冷戦下の日本・アジア先進国の経済成長と地域連携、およびベトナム戦争）				
	第6回	レポート6（問い直される近代、石油危機と経済政策 冷戦の終結と地域紛争 民主化の進展とグローバル化・地域統合）				
面接指導	1時間目	イギリス・インド・清によって行われたアジア三角貿易、市民革命と近代社会、および19世紀の欧米の国家形態の模索、帝国主義と植民地および19世紀末～20世紀はじめの世界、世界恐慌とファシズムの進展および国際協調体制の崩壊について理解する				
試験	出題範囲	主として添削指導内容、報告課題、面接指導内容から出題				
評価	評価の観点	①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度				
	評価の方法	添削・課題・面接等の取組状況と試験の結果により総合的に評価				

令和7年度 教科・科目年間指導計画

教科名	科目名	担当者名	必修・選択別	単位数	対象年次
社会	日本史探究	指山	選択	4単位	3年次
教科書・補助教材等(出版社)			添削指導	面接指導	視聴報告書
日本史探究（東京書籍・701） 日本史探究（東京書籍インターネット講座）			12回	2時間	1回
科目の指導目標					
<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。</p>					
区分	回数	指導内容			
添削指導	第1回	レポート1（先史社会の生活と文化 歴史資料と先史・古代の展望 律令国家の形成と古代文化の形成）			
	第2回	レポート2（律令国家の形成と白鳳文化および平城京と天平文化 摂関政治と貴族文化）			
	第3回	レポート3（中世社会の成立および中世社会の展開 中世の日本と世界 中世社会の展開）			
	第4回	レポート4（武家社会の広がりとの国際交流）			
	第5回	レポート5（近世社会の形成 江戸幕府と大名・朝廷 幕藩体制の確立）			
	第6回	レポート6（幕藩体制の確立）			
	第7回	レポート7（近世社会の成熟と幕藩体制の動揺）			
	第8回	レポート8（近代社会の幕開け）			
	第9回	レポート9（国民国家と資本主義の成立 日露戦争後の社会と政治）			
	第10回	レポート10（両大戦間期の日本 国際社会のなかの日本 戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開）			
	第11回	レポート11（占領と改革 国際社会への復帰と高度経済成長 高度経済成長）			
	第12回	レポート12（アジア情勢の変化と経済大国日本 新しい国際秩序と日本の課題 アジア情勢の変化と経済大国日本及び新しい国際秩序と日本の課題）			
面接指導	1時間目	先史社会の生活と文化、律令国家の形成と白鳳文化及び平城京と天平文化、自立する戦国大名、幕府の崩壊と明治維新について理解する			
	2時間目	東アジア世界のなかの明治政府及び政府専制への批判、中国侵略と戦時体制への移行、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開、「持続可能な社会に向けて」について理解する			
試験	出題範囲	主として添削指導内容、報告課題、面接指導内容から出題			
評価	評価の観点	①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度			
	評価の方法	添削・課題・面接等の取組状況と試験の結果により総合的に評価			

令和7年度 教科・科目年間指導計画

教科名	科目名	担当者名	必修・選択別	単位数	対象年次
社会	世界史探究	指山	選択	4単位	3年次
教科書・補助教材等(出版社)			添削指導	面接指導	視聴報告書
世界史探究(東京書籍・701)			12回	2時間	1回
世界史探究(東京書籍インターネット講座)					
科目の指導目標					
<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。</p>					
区分	回数	指導内容			
添削指導	第1回	レポート1 (地球と人類の誕生 古代オリエント文明とエーゲ海地域 アジアの古代文明)			
	第2回	レポート2 (古代オリエントの統一、古代ギリシャとヘレニズム文化 ローマ帝国 地中海世界とアジア、イスラームの成立など)			
	第3回	レポート3 (南アジアや東南アジアにおける国家形成 東アジアの古代帝国誕生 草原地帯のトルコ化とイスラーム化)			
	第4回	レポート4 (アフリカ、オセアニア、古アメリカ 諸地域の交流と再編 イスラーム世界の拡大繁栄)			
	第5回	レポート5 (中世ヨーロッパ社会の展開・成熟・文化 中世ヨーロッパの再編、ルネサンス 中華世界の変容とモンゴル帝国)			
	第6回	レポート6 (イスラームのインド・インド洋への浸透、海と陸の結合-東南アジア世界の発展 アジア交易圏の再編と活況、ポルトガルのアジア進出、明と日本・朝鮮の動向 一体化に向かう世界、大交易時代)			
	第7回	レポート7 (中央アジアと西アジアの繁栄、インドの大国 清とアジア 17世紀の世界、主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大)			
	第8回	レポート8 (一体化していく世界、産業革命と工業化、アメリカ合衆国とラテンアメリカ諸国の独立 フランス革命とウィーン体制、自由主義の台頭と新しい革命の波 19世紀後半のヨーロッパ諸国、南北アメリカの発展)			
	第9回	レポート9 (産業資本主義の世界への波及と欧米社会、西アジアの危機と改革の始まり、南・東南アジアの植民地化、清における開発の限界と二つのアヘン戦争 列強の覇権争い、西アジア。中央アジアの変革、南アジア・東南アジアの民族運動 清の体制転換と近代国家建設の模索、19世紀後半の世界)			
	第10回	レポート10 (第一次世界大戦、ヴェルサイユ体制と国家秩序の再編、大戦後のアメリカ合衆国とヨーロッパ アジア・アフリカでの国家形成の動き 国際協調体制の動揺と第二次世界大戦)			
	第11回	レポート11 (アジア・太平洋戦争と日本の敗戦、帝国の解体と分断国家の形成、アジア諸国の独立と脱植民地化、朝鮮戦争と東アジアの「冷戦」 冷戦と政治経済秩序、アジア・アフリカ諸国の独立と第三勢力 平和共存と社会主義圏の多極化)			
	第12回	レポート12 (アメリカ合衆国の覇権の動揺と冷戦の変容、冷戦の変容と世界の諸地域 冷戦の終結とその後の世界、アメリカ合衆国の復調とグローバル化 21世紀の地球的課題と人類社会)			
面接指導	1時間目	シュメール人について、地中海世界とアジア、イスラーム世界の成立、中世初期のヨーロッパ、諸地域の交流と再編、中世ヨーロッパの再編、ルネサンスについて理解する			
	2時間目	17世紀の世界、主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大、産業資本主義の世界への波及と欧米社会、西アジアの危機と改革の始まり、南アジア・東南アジアの植民地化、清における開発の限界と二つのアヘン戦争について理解する			
試験	出題範囲	主として添削指導内容、報告課題、面接指導内容から出題			
評価	評価の観点	①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度			
	評価の方法	添削・課題・面接等の取組状況と試験の結果により総合的に評価			